

# Power



熊野第三小学校 5年生学年通信 NO. 4 令和6年6月25日

## 高まりを実感できた 野外活動！！

6月5日（水）～7日（金）の2泊3日で、江田島青少年交流の家で野外活動がありました。小学校生活で初めての集団宿泊学習でしたので、準備の段階から、保護者の方のご協力をいただき、無事に終わることができました。

野活の1カ月ぐらい前、子供たちから実行委員を募り、立候補をしてくれた9名を中心にスタートしました。実行委員が集まり、野活で頑張りたいことや、付けたい力を話し合い、野活のテーマを考えました。それが「えたじま」でした。

え…笑顔で元気にあいさつをしよう

た…高まりを実感しよう

じ…自分たちで生活を作ろう

ま…守ろう時間

この「えたじま」をキャッチフレーズとして、3日間みんなで声を出して呼びかけながら、常に意識をして過ごしました。特に「自分たちで生活を作ろう」は、出発前の普段の学校生活から始めました。一日の時間割を朝確認して、教室移動がある場合など、教師が声をかけなくても自分たちで時間を見て行動することに取り組みました。その成果が野活本番でも発揮され、わたしたちが声をかけることはほとんどなく、班長や室長を中心に自分たちで声をかけ合い、「10分前行動、5分前集合」をやり遂げました。

様々な体験活動や、食事、入浴、集団生活を通して、「自分だけがいい」ではなく、「自分のいいがみんなのいい」になることが大事であることを実感できました。事前に「VS（ボランティア・サービス）」について指導し、集団生活において、思いやりのある行動やみんなのことを考えた行動が大切であることを学習しました。野活中、「VS」ができている人を見かけたら、その行動を紙に書いて見える場所に掲示しみんなに紹介しました。すると友達の思いやりのある行動をたくさん見付けたり、自分から進んでみんなのためになる行動をする人が増えたりして、準備していた紙が1日で無くなってしまったほどでした。



まだまだここに書ききれないほど、子供たちは一人一人成長し、さらに振り返りをする中でそれを実感することができました。この高まりを野外活動だけで終わらせることなく、これからの学校生活、高学年として学校を支える立場として生かしていけるように、我々教師含め、ご家庭でも意識をさせていければと思います。今後ともお力添えをいただければと思います。よろしくお願いします。

